

キーパータイムズ KeepPre TIMES

は、生まれ変わります。

CHANGE&CHALLENGE!



施工店様だけでなく、お客様へ語りかける情報誌へ。



消費者と自動車との関わり方は変動の時代に突入しました。「新しい車を買って乗り継ぐ」→「いま乗っている車を、きれいに長く乗る」というカーライフスタイルが脚光を浴びています。当社が提唱する「キーパーコーティングは愛車を守る」という商品群の特長がマッチする時代になりました。この機会に、これまでBtoB、つまり施工店の皆様向けに制作していたキーパータイムズに、その本来の役割は維持したまま、キーパーをご愛顧くださるお客様が読んでくださっても充分に価値のある紙面・記事を加え、BtoB&C、つまり、施工店様およびお客様向けの情報誌へと変わります。

CHANGE
2

キーパーの洗車・コーティングをお客様にも伝える充実した内容に。

CHANGE
3

お読みいただいた後は、クリアファイルなどにそのままはさんで、お客様用に待合室に置いてください。

For Customer&Business

For Business



【1面(表紙)】

【6面(裏表紙)】

1面(表紙)は、キーパーの洗車・コーティングの魅力をお客様に読みやすく分かりやすい紙面にいたします。
6面(裏表紙)は、お客様のキーパー認知度を高め、普及させることができる最新の情報を掲載します。

2~5面の4ページは、これまでどおり施工店様向けの情報を満載します。



1. 折り畳んだままのキーパータイムズを、バウチクリアファイルにはさんでください。

2. 待合室などに置いて宣伝ツールとしてご利用ください。



折り畳んだ姿のままパウチする、あるいはクリアファイルに収めて、ぜひ待合室に置いてください。お客様に読んでいただきたい1面と6面だけをお読みいただくことができます。

3. 洗車中のお客様にご自由に読んでいただくことができます。

CHANGE
1

B4判6ページにリニューアル。読みやすい横書きにしました。



2001年3月
キーパータイムズ
創刊

私たちは、下記のような思いを込めて「キーパータイムズ」を創刊しました。「私たちアイ・タック技研(株)のスタッフは、毎日、直接あるいは間接的に広く洗車全般に関する活動を繰り広げており、全国の皆様からいただいた情報を含め、お伝えしたいノウハウがあふれるほどあります。従来、洗車セミナーとカスクールにおいて、また営業活動の中で、出来るだけの情報を提供したいと念じつつも、基本的な事もお伝えしなければならず、宝の持ちぐされになっていたのが現状でした。今後は、出来るだけ沢山の情報を、生の形で、よりリアルタイムで皆様に最新の情報をお伝えしてまいりたいと思います」(創刊号コメントより)



商品についても
沢山掲載

様々な商品の良さや特長はもちろん、開発秘話、市場分析、快洗隊でのお客様の反応も掲載。今も愛されている商品を数多く紹介してきました。文章を縦書きにして新聞らしくしました。



世界動向を伝える

世界を歩き回り、洗車ビジネスの現状を伝えました。日本人はキレイ好きであること、自分で洗う文化が定着していること、洗車機洗車が非常に発達していること。世界を見ることで日本の洗車文化の素晴らしさを伝えました。



名作
「ラーメンと洗車」

ラーメンを販売する商売と洗車を販売する商売の比較を、数号に分けて掲載しました。洗車と品質の関係を分かりやすく伝え、品質維持の大切さを訴えました。好評をいただき、今でも話題に上ります。



頑張っている
お店を紹介

各地施工店の実績を公表させていただいたり、工夫やこだわりのポイントを紹介しました。掲載させていただいた店舗からは喜びの声を頂戴しました。

キーパータイムズの変遷

バックナンバーをご用意しています。無料で送りますので、ご興味を持たれた方は、0120-517-158までお電話ください。また当社ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.sensya.com/biz/keepertimes/>



紙面が
カラーに

2002年から紙面をカラーとし、写真や絵を使った、より分かりやすい表現に改善しました。この頃は横書きでした。アイ・タック技研(株)もSONAXと業務提携するなど、世界に行動範囲が広がっていきました。



直営店実績は
創刊時から公表

快洗隊直営店の実績は創刊時から公表しています。良い時も悪い時も、一切隠すことなく実績を公表することで、自らを高めて行きました。今後もこの姿勢を持ち続けてまいります。



時代の流れを
伝える

高付加価値なサービスへ明確にシフトしよう!と伝えるなど、現在のSS動向や洗車動向などを沢山語ってきました。洗車ビジネスを真剣に見つめ、これからの考え方を。



日本に新しい
洗車文化を

日本に新しい洗車文化とは何か? CSとESを実現するためにはどうしたら良いか? 当社が見つめる洗車ビジネスの将来像を伝えてきました。「日本に新しい洗車文化を」創るために、これからもキーパータイムズを制作していきます。